

Take Free

BPC PAPER

経済産業省
EJC
Entrepreneur Japan Campaign
連携コンテスト

第18回東三河ビジネスプランコンテスト事例集

Feature 01



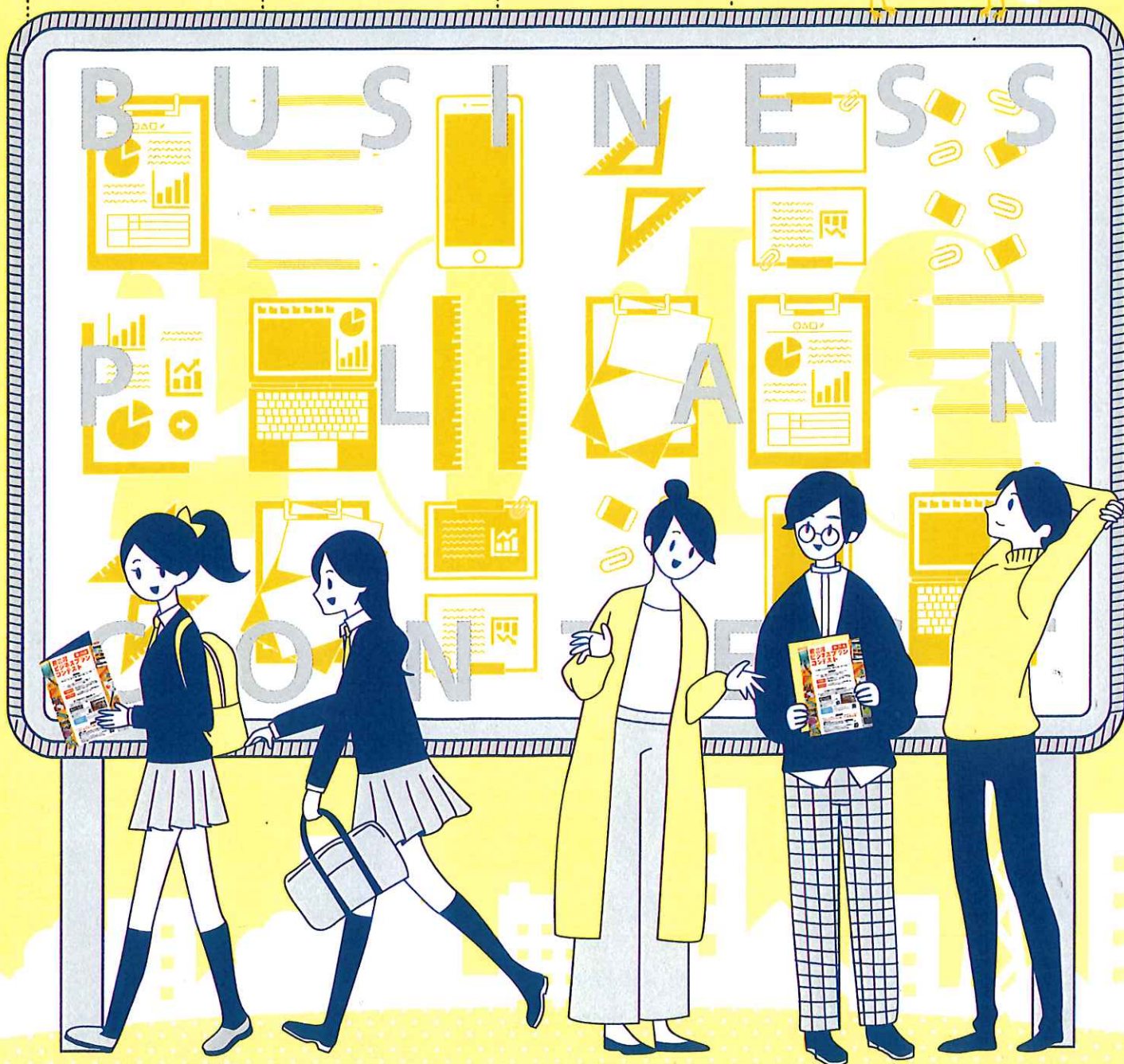
第18回
東三河ビジネスプラン
コンテスト受賞者発表!

Feature 02

受賞者の
今を追う

Feature 03

起業相談ができるワークスペース
Startup Garageのご紹介



受賞者の今を追う

◆ その一

第15回東三河ビジネスプランコンテスト
一般事業部門 最優秀賞

山口化成工業株式会社

代表取締役社長 松倉 利夫さん



2015年の一般事業部門で最優秀賞を受賞した、山口化成工業株式会社の松倉利夫氏。受賞プランの車椅子ノーマンクタイヤチューブ「エアリー」は、その後ヒット商品となりました。開発の背景や新しく取り組んでいるプロダクトに関してお話を伺いました。

ー 受賞プランの制作秘話について教えてください。

パッケージ専門の展示会「TOKYO PACK」でドイツの化学メーカー「BASF社」の展示があり、そこに車椅子のタイヤのノーマンクチューブの原材料となった「ビーズ発泡熱可塑性ポリウレタン」が展示されていました。当時はまだ国内で使用されていない原料でしたので、面白そうな素材だと思いメーカーと交渉、協力して頂けることになりました。

大手のゴムメーカーと知り合いを通じて協同開発をすることになり、ノーマンクチューブの開発に取り掛かりました。それから一年半ほどで商品化し、車椅子市場は年間20万台売れている中で、本製品は2年間で8万台を売り上げました。



ー ビジネスプランコンテストを知ったきっかけを教えてください。

豊橋サイエンスコアで毎年行われる「豊橋市中小企業人材育成支援研修」の講座の一つである「ビジネスプラン作成講座」で知りました。

ー 受賞後の変化はありましたか。

中部経済新聞に掲載され、それを見たNHKから連絡があり、番組に出演しました。かなりのPR効果がありました。

ー 今新しく取り組んでいることがありましたら、教えてください。

現在はタイヤに使用しているのと同じ素材で「Gripsave（グリップセーブ）」という握力を鍛える製品の開発中です。タイヤとは固さを変えて柔らかく成形しています。イギリスの大学で握力が5kg



山口化成工業の新商品
Gripsave（グリップセーブ）は、にぎること
で握力が鍛えられ、生活習慣病の防止などに役立つ商品！可愛い見た目と持ち運びしやすいサイズでいつでもどこでも“にぎにぎ”できちゃいます！

落ちると死亡率が20%上がるという研究データがあり、握力の低下によって、生活習慣病などのリスクが高まることも報告されています。



「Gripsave（グリップセーブ）」をしばらく握り、パッと手を離すと一瞬だけ血管が緩んで一酸化窒素が発生します。一酸化窒素の作用で血管が柔らかくなり、高血圧予防にもつながります。これを今後介護施設などで配布していきたいと考えています。

特許業務法人
SANSU I 国際特許事務所
豊橋オフィス

〒440-0888
豊橋市駅前大通一丁目27番地
WALL CAPITAL HILL 5F
TEL<0532>39-4830
FAX<0532>39-4883

～会員に喜ばれる事業を推進する～

豊川商工会議所

The TOYOKAWA CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY



〒442-8540 豊川市豊川町辺通4-4
TEL 0533-86-4101 FAX 0533-84-1808
<http://www.toyokawa-cci.org>



お気軽にご相談ください

中小企業のベストパートナー



豊橋市大橋通2丁目125番地
☎0532-57-5611

中小企業のみなさまの借入をスムーズにする公的機関です。

MUSASHI Innovation Lab
CLUE

研究紀要

ISSN 2188-1731	
研究紀要	
第35号	平成30年3月
目次	
論説	
規律と自律を模索する課題における言語の認知に関する研究 ……加藤知佳子・北原 昌子 1	
フローラ・アニー・ステイルの『田舎の物語』について ……インド支那の現実を見つめたメモリー・ビーズ ……小西 真弓 13	
研究ノート	
高校生が考える未来 ……市川由美子・岡本 昌子・杉山 和也 ……野元 幸・加藤 亮・佐々木裕美 35	
高校出陣後における職業教育の一考察 ……伊藤 圭一 45	
資料	
子どもの育ちの危機「子どもとの関わり方がわからない親」 ……家庭で育つ子どもと社会的実践との連続性 ……佐野真一郎・池田 信子 51	
東三河ビジネスプランコンテスト受賞者へのインタビュー ……コンテストに出て何が変わったのか? ……花岡 幹明・和田 剛明 65	
豊橋創造大学短期大学部	

Bulletin of Toyohashi Sozo Junior College
2018, No.35, 65-78

資料

東三河ビジネスプランコンテスト受賞者へのインタビュー

——コンテストに出て何が変わったのか?——

花岡 幹明
和田 剛明

1. はじめに

近年、政府の日本再興戦略に基づく産業競争力強化法¹⁾の施行などにより、地域における創業支援への取り組みは、充実度を増している。全国各地で行われているビジネスプランコンテストにも、創業支援や潜在的起業家の掘り起こしという目的が明確に与えられている。

東三河ビジネスプランコンテストは、2004年に、愛知県東三河地域における起業・創業を支援し、新事業を育成することを目的にスタートした。今年で15年目を迎えるが、毎年、地元産学官の団結で実行委員会並びに運営事務局を立ち上げ、ビジネスプランコンテスト開催と関連イベントや広報活動といった支援を行っている。コンテストの対象は、東三河に在住もしくは東三河での起業・創業や新事業の創出を目指す個人・法人である。このように、当コンテストは、長きにわたり地域が主体となって、地域経済の活性化を目的に創業支援活動を行っている。

筆者らも、地元大学構内機関に所属する者として実行委員会に参加し、コンテスト運営に携わっている。そこで今回、コンテストの役割である潜在的起業家の掘り起こしという機能を強化するため、コンテスト受賞者へのインタビューを通じて、その目線からビジネスプランの作成やコンテストの意義を伝えたい。これから起業・創業を目指す人やコンテストの応募を考えている人にとって、受賞者の言葉や経験は身近で参考となる点も多いであろう。コンテストに応募する前線でのような変化があったか、ビジネスプランの作成やコンテストの準備において何が大事であったか、受賞後に体感した変化にどのような意味があったかなどを振り返る中で、起業・創業における重要なポイントやコンテストの意義を宗くことが本稿の目的である。

今回、第15回一般部門最優秀賞を受賞した山口化成工業株式会社の松倉利夫氏にインタビューを行った。受賞プランとなった車椅子ノーパンクタイヤチューブ「エアリー」は、山口化成工業の売上に大きく寄与し、業績を回復させるセット商品となった。メディアにも広く取り上げられ、受賞後の活躍も著しい。松倉氏へのインタビューから、現在の成功に至る重要なポイントを、松倉氏の発言のまじり整理することにより、コンテスト受賞者（応募者）

1) 創業資金の充て込みや創業支援の強化に関する内容は、経済産業省「創業支援の推進」に関する取組（http://www.meti.go.jp/press/2015/05/20150514_00014.html）を参照したい。
2) 東三河ビジネスプランコンテストの創設経緯等については、月刊「2007」に詳しい。また、現状については、東三河ビジネスプランコンテスト15周年（<http://www2.sozo.ac.jp/business/15th/>）を参照したい。

東三河ビジネスプランコンテスト受賞者へのインタビュー ——コンテストに出て何が変わったのか?——

著：花岡幹明・和田剛明 p.65-78

2015年度に開催された第15回東三河ビジネスプランコンテスト一般事業部門で、車椅子ノーパンクタイヤチューブ「エアリー」で最優秀賞を受賞した山口化成工業株式会社の松倉利夫氏にコンテストの委員長・副委員長がインタビュー。松倉氏に現在の成功に至ったポイントを受賞者（応募者）目線で熱く語っていただいた内容がまとめられ、起業・創業を目指す人へのエールが込められた読み応えのある一冊となっています。松倉氏については、本誌P11～12でも紹介していますので、ぜひ併せてご覧ください。

右のQRコードからチェック！

<http://www2.sozo.ac.jp/pdf/kiyou35/contents/35-6Hanaoka.pdf>

